

# 平成25年度 当初予算案



平成26年3月開院に向け建設が進む昭和大学江東豊洲病院。左隣には、(仮称)豊洲西小学校が平成27年4月開校予定

## 生活を守りまちの活気を感じる

# 区民応援予算

平成25年度の江東区当初予算案は、一般会計で1,650億6,500万円と前年度に比べ2.2%増となりました。また、一般会計と特別会計(国民健康保険会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計)を合わせた予算総額は、前年度比2.9%増の2,522億3,600万円となっております。平成25年度当初予算は、2月20日から始まった平成25年第1回区議会定例会の審議を経て、決定します(2面に主な事業)。

### 区民の安全・安心のさらなる充実に向けた予算編成

区では、長期計画の着実な実行とさらなる安全・安心施策を進めるため、「防災都市江東」

### 48万人区民の尊い命を守り

### 将来を見据えた予算



江東区長 山崎孝明

昨年、本区の優先課題として「防災都市江東」の実現を掲げ、区民の自助・共助の支援や公助の施策に取り組んでまいりました。今後も、48万人の区民をはじめ在勤・在学者、旅行者も含め尊い命を守るため、基礎自

治体として責務を果たしてまいります。平成25年度当初予算編成では、南部地域における総合病院の整備など6つの重点プロジェクトをはじめとした長期計画の着実な実施を図り、生命を産み、育み、守る、区民生活の息吹やまちの活気が感じられる予算案としました。我が国の経済は、乏しい国内

から派生する新たなビジネス、国政による経済対策など、光明を感じさせてくれます。しかし、本区の中小企業の現状は厳しい状況にあり、少子高齢化に伴う内需の先細りなど、景気向上を妨げる不安要因を払拭することはできません。また、人口増加は、税の増収が見込まれる一方、保育や教育施設など新たな行政需要も伴います。合わせて、本区が地域事情に合った行政の役割を果たすには、権限移譲や地方分権の進展など、地方公共団体としての自主性および自立性を高める必要があります。

特別区税および特別区交付金の先行きが不透明な財政状況では、健全な財政運営を念頭に置き、積立基金や起債の有効活用、区民税等の徴収対策など財源確保を図り、区民福祉に供する公的施設の整備など区民サービスの向上に取り組んでいかなければなりません。私は、安らぎや歓喜ある未来のため、こどもが誇れるまちづくりのため、将来を見据えた行政課題に着実に対応し、強いリーダーシップで区政運営に取り組んでまいります。

### まちの活気を創出し、区民生活を応援する施策展開

平成25年度予算では、(仮称)江東区中央防災倉庫の整備、災害時の初期消火対応力・給水体制の強化、防災無線子局の区内全域整備、東京都帰宅困難者対策条例の施行に伴う備蓄物資の整備など「防災都市江東」の推進にかかる経費に対して、優先的に予算を配分しました。また、(仮称)第二有明小学校の整備や小・中学校大規模改修事業など、江東区長期計画に定める主要事業の着実な実施を

図るほか、スポーツ祭東京2013の開催や区の喫緊の課題である中小企業支援、若年者就労支援、保育所待機児童の解消、高齢者・障害者施設の整備、環境施策等ハード・ソフト両面において区民生活を支える施策を展開してまいります。

### 行財政改革の推進

平成25年度当初予算では特別区税や特別区交付金は増収となりますが、中・長期的には大幅な回復は期待できません。区では、外部評価による行政評価結果を踏まえ、事業の見直しや再構築、全事業の総点検を行うとともに、江東区行財政改革計画に掲げる職員定員の適正化や、区民税等の徴収対策の強化など歳入の確保に努め、先行き不透明な経済情勢下にあっても安定的に区民サービスが提供できる強固な財政基盤の確立に努めてまいります。

### 区財政課予算係

☎(3647)1760

区分	平成25年度	平成24年度	増減率
一般会計	1,650億6,500万円	1,614億9,100万円	2.2%増
国民健康保険会計	532億600万円	519億5,700万円	2.4%増
介護保険会計	266億6,900万円	245億8,700万円	8.5%増
後期高齢者医療会計	72億9,600万円	70億2,800万円	3.8%増
計	2,522億3,600万円	2,450億6,300万円	2.9%増

### 今号の主な内容

[3面]夜間・休日受付窓口を庁舎1階に移転 [4面]古着・古布の回収 [6面]証明書自動交付機の利用を休止、子宮頸がん予防ワクチン 中1~高2女子は3月中に接種を [7面]学童クラブ・江東きッズクラブ臨時職員募集

# 平成25年度 予算案 江東区の注目事業

平成25年度予算案の中から新規事業などを中心に、新年度に予定されている江東区の主な事業を紹介いたします。

円 財政課予算係 ☎(3647)1760

## 防災・まちづくり

### ターミナル型防災倉庫の整備

1,959万円  
食料、衣類等の応急物資や資機材等を保管し、区外からの救援物資等の集配所機能を持つ(仮称)江東区中央防災倉庫を塩浜に整備します。

### 災害時の消火・給水活動強化

2,485万円  
火災危険度の高い地域に、消火栓を活用した消火活動ができる街頭スタンドパイプを設置します。また、災害時の避難所となる小・中学校の受水槽に直接する応急給水管を配備します。



▲消火栓に直接ホースをつないで消火活動ができるスタンドパイプ

### 全国初！臨海部を含む区内全域に防災無線子局を設置

6,130万円

## 緑・環境

### CITY IN THE GREEN(シティイン・ザ・グリーン)の推進

4,476万円  
防災無線放送の聴取環境の悪い地域を解消し、区内全域で災害情報が得られる環境を整備します。また、臨海部への設置を進め、臨海部を訪れる観光客、就業者等へも情報を伝達します。

### 水上ネットワークを構築して災害に強い都市へ

1,868万円  
既存の防災船着場の改修を行い、災害時に被災者の輸送や物資の搬入など緊急輸送ネットワークとなる水上輸送基地を整備します。改修した防災船着場は、観光振興にも活用します。

### 民間建築物の耐震化拡充へ老朽建築物の除却費用助成

500万円  
倒壊や火災の発生する可能性が高い老朽建築物に対し、建替促進を目的とした除却費用を助成し、災害に強いまちづくりを推進します。

### 全天候型の屋外フットサル施設が完成

1,002万円  
「スポーツ公園」をコンセプトに整備を進めている堅川河川敷公園のリニューアルに伴い、フットサル施設等を開設します。4面のフットサルコートのほか、

駐車場やシャワー、ロッカーを完備したセンターハウスも整備しています。

### 有明に小学校を新・増設

5,680万円  
南部地域での児童人口増加に対応するため、(仮称)第二有明小学校の整備に着手(平成30年4月開校)するほか、有明小学校の校舎を増設(平成28年4月使用開始)します。



▲有明小・中学校(現在)

### 23区初！マイクロ水力発電の設置に向けた調査

740万円  
区の水資源を生かし、新たなシンボルや環境学習施設として活用を図るマイクロ(小規模)水力発電設備の設置可能性を調査します。

## 子育て・教育

### 認可・認証保育所の整備

7億7,141万円  
認可保育所3園(定員255人)、認証保育所10園(定員309人)を整備し、待機児童の解消を図ります。

### 23区初！保育送迎ステーションの導入調査・検討

843万円  
保育所が不足している地域と空きのある地域での待機児童の偏在解消を図るため、保育送迎

大学江東豊洲病院」の整備を進めており、平成26年3月開院の予定です。

### 特別養護老人ホーム等の整備

1億9,860万円  
大島七丁目と塩浜一丁目、介護専用型ケアハウスや都市型軽費老人ホーム等を併設した特別養護老人ホームを整備します。

## 産業・観光

### 「亀戸梅屋敷」を新たな観光拠点に活用

1,440万円  
亀戸いきいき事業協同組合が、亀戸四丁目に建設する「亀戸梅屋敷」を新たな観光拠点として区が観光PRに活用します。亀戸地域に点在する観光資源を結び、区全体への回遊性ある観光振興および地域活性化を図ります。

### 江東区観光協会が始動

3,279万円  
全区的な観光推進組織である一般社団法人江東区観光協会が始動します。近隣の自治体や区内外の団体と連携して、より広域的・戦略的な観光事業に取り組み、区への誘客を促進します。

## 健康・福祉

### 南部地域の総合病院が平成26年3月に開院予定

25億164万円  
豊洲地区に、産科・小児科・周産期医療の機能を備え、急性期にも対応した総合病院「昭和

### 若者の就労と中小企業の人材確保を支援

8,522万円  
正規雇用されていない区内の若者を対象に、研修および区内中小企業とのマッチングを経て、

企業で就労実習を行います。その後、双方合意のもと実習先企業への就職につなげます。

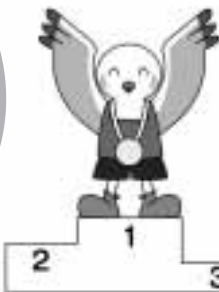
### 中小企業の経営力を強化

400万円  
区内産業の製品・技術力の紹介および経営基盤強化のため中小企業への補助対象を拡大し、展示会等出展助成拡充や商標権・実用新案権やISO27000などの取得支援を図ります。

## スポーツ

### スポーツ祭東京2013開催

7億972万円  
東京で54年ぶりの開催となる国民体育大会、初開催の全国障害者スポーツ大会が行われます。区内では国体の水泳(競泳、飛込、シンクロ)、セーリング、ラィフル射撃(センター・ファイア・ピストル)と障スポの水泳(競泳)を開催します。

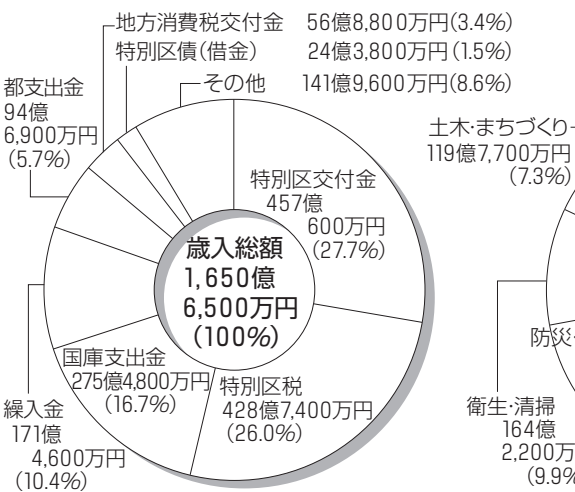


### 予算1万円の使いみち

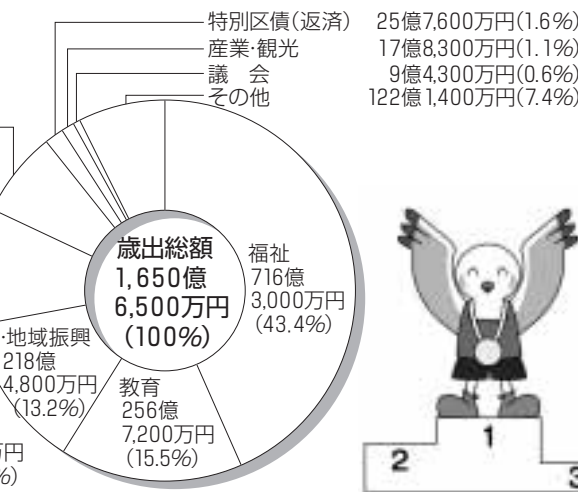
この表は、平成25年度一般会計予算(案)を1万円に換算して目的別に表示したものです。

高齢者や子育て支援など福祉に	学校教育や図書館などに	防災対策や地域振興などに	健康診断、保健所運営や清掃事業などに	道路・公園の整備やまちづくりに	特別区債(借金)の返済などに	商工業・観光振興や消費者保護に	議会の運営に	その他(国民健康保険会計の資金などに)
4,339円	1,555円	1,324円	995円	726円	156円	108円	57円	740円

### 一般会計歳入予算の内訳



### 一般会計歳出予算の内訳



# 平成24年度包括外部監査

## 清掃・環境事業をチエツク

区では平成20年度から、公認会計士など外部の専門家による監査を実施しています。外部監査制度とは、従来の監査委員制度に加え、監査機能の専門性・独立性を強化するため、地方公共団体が外部監査人（弁護士、公認会計士、税理士等）と契約を結び、財務や事業の執行について監査を受ける制度です。

このたび今年度実施した包括外部監査の結果が、外部監査人である鈴木秋夫公認会計士から報告されました。

### 清掃・環境事業を監査

「アーム」効率的な清掃事業の推進を中心とした環境清掃部の財務事務の執行について

「選定理由」清掃事業は、都から移管されてすでに12年を超え、区が実施する収集・運搬業務にかかる財務事務の効率性や経済性等を検証する必要があります。また、環境問題やリサイクル事業は区民の皆さんに関心のある事項であり、区が行う取り組みの効率性や有効性を検証する必要があると考えた。

## 夜間・休日受付窓口を庁舎1階に移転 3/6(水)

### 証明書自動交付機・スポーツネットは3/7(木)

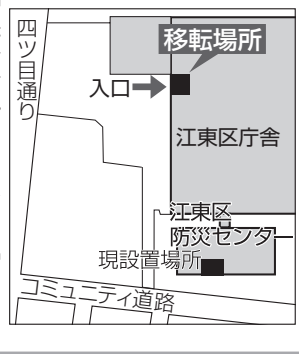
区役所本庁舎の耐震補強工事のため、防災センター1階に移転していた次の施設が庁舎1階に戻ります。移転後、夜間および土・日曜、祝日は、防災センター1階から庁舎内に入ることができなくなりますのでご注意ください。

「閉庁時間の夜間・休日受付窓口」3月6日(水)から移転。

「証明書自動交付機」3月7日(木)から移転。なお、3月6日(水)午後2時から終日、防災センター1階の交付機の利用を中止します。※庁舎2階の交付機は変更ありません。

「区民課証明係」3月7日(木)から移転。なお、3月6日(水)午後2時から終日、防災センター1階のスポーツネットの利用を中止します。

「スポーツ振興課スポーツ振興係」3月7日(木)から移転。なお、3月6日(水)午後2時から終日、防災センター1階のスポーツネットの利用を中止します。



命契約を選択する場合も、業務実態の把握に努め、長期間の特命契約による弊害が発生することのないよう、担当者、契約先ともに緊張感を持って業務にあたる必要がある。

②情報の公開・説明責任  
区は、独自の分別回収を実施しているが、その結果多額の支出が生じている。区は、地球温暖化防止の効果のみではなく、リサイクルの実施状況に関する透明性ある内容開示をすることやその意義についての説明責任を果たすべきである。また、集団回収においても必要な情報が伝達されるよう、区民への普及啓発のため積極的なPR活動が必要である。

③事業の効率性  
官民共同で行っているごみの収集・運搬のうち、民間事業者が保有する清掃車両の配車計画策定にあたっては、適切な配車

が望まれる。また、確実にごみを収集するための人員体制は必要であるが、効率的な職員配置とすべきである。資源回収や容器包装プラスチックの回収・運搬業務にかかる配車数も、回収量の変動に留意し、より効率的な回収となるよう、車両ルートや回収体制の見直しが必要である。

④事業の改善・再検討  
清掃作業において直営作業員は必要であるが、民間作業員との比率について、また、民間作業員はごみの適正排出指導ができないという現行の役割について検討が必要である。環境分野では、区は地球温暖化防止や環境保護に有効と思われる施策を検討し、多くの事業を展開しているが、目標管理指標であるCO<sub>2</sub>削減量については、区内総排出量における区の施策によ

る削減効果の測定が困難な状況にある。各事業の効果に基づく算定および検証が可能な新たな管理指標の検討が必要である。

⑤その他  
家庭ごみ有料化は清掃事業にとって大変重要な事項であり、その是非をしっかりと議論していくことが必要である。

今後、区では報告書の内容を十分に検証し、適切な事務改善に取り組みます。

報告書は、区ホームページ、こうどう情報ステーション(区役所2階)でご覧になれます。

「総務課総務係」☎(3647)4020

## 国民年金保険料の学生納付特例

### 平成24年度の申請期限は4月30日(火)

学生納付特例とは、20歳以上60歳未満の学生の方が申請して日本年金機構の承認を得ると、一定期間国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学校は大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校等です(海外大学の日本分校は一部を除き対象となりません)。

審査対象期間は4月から翌年3月の1年間で、学生である間は毎年申請が必要です。

学生納付特例が承認された期間は、期間に応じて



## 手話講習会受講者募集中

### 手話を身につけて 通訳者・ボランティアに

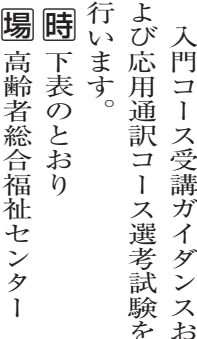
江東ボランティアセンターでは、聴覚に障害のある方とのコミュニケーション手段の一つである手話を学び、手話通訳者・ボランティアの養成を目指す講習会を開催しています。

手話講習会は、入門・基礎通訳・応用通訳・特別通訳コースがあり、入門コースと応用通訳コースの受講生を募集します。

「時」内 下表のとおり「場」高齢者総合福祉センター(東陽6-2-17)「入」区内在住または在勤・在学の18歳以上(平成25年4月1日現在)の健聴者で、修了後に手話通訳者、手話協力員として江東区で活動できる方※一度受講した方は同じコースを受講することはできません。

「費」無料(テキスト代自己負担)

「入」入門コース受講ガイダンス  
「入」入門コース受講ガイダンス  
「入」応用通訳コース選考試験



コース	日程	資格・定員	ガイダンス・選考試験
入門(簡単な日常会話ができるまでを指導)	4/23~9/17(火曜全20回) [昼] 14:00~16:00 (開・閉講式等は夜間) [夜] 18:30~20:30	手話学習未経験者で手話の習得に熱意のある方各60名(抽選、ガイダンス受講が必要。受講できない方は要連絡)	受講希望の時間帯のガイダンスを受けてください。 [昼] 4/9(火) [夜] 14:00~18:30
応用通訳(手話通訳者として活動できる人材を育成)	4/23~平成26年3/11(火曜全42回) 18:30~20:30	中級・基礎通訳コース修了レベルの技術を有し、手話通訳者をめざす方約20名(選考試験で決定、上級修了者・江東区手話協力員登録者も可)	選考試験を実施します。 [昼] 4/9(火) 18:30(受付開始は30分前) ※時間厳守、遅刻者は受験できません。 [夜] 読み取り・筆記取り手話表現・筆記

※基礎通訳コース(聴覚障害者理解と簡単な手話通訳技術を指導)は、9月~平成26年3月に実施。詳細は8月の区報でお知らせします。  
※特別通訳コースは、3月の平成24年度手話通訳者登録試験受験者の中から選ばれた約15名が受講できます。なお、特別通訳コースは、2回まで受講できます。

一定額が加算されます。

○障害基礎年金請求の審査に際し納付済期間とみなされます。「必要書類」年金手帳等、基礎年金番号が記載された書類と学生証(表・裏両面の写しでも可)または在学証明書

※学生納付特例に該当しない方は、免除申請や若年者納付猶予を申請できます。

「縮」4月30日(火)  
「申」各出張所・区民課年金係(区役所隣防災センター2階7番)窓口で  
「問」区民課年金係 ☎(3647)1131

凡例 時日時 場所 集合 対象・定員 費用 内容 講師 保一時保育 縮締切日 申申込 問問合先 HPホームページ Eメール